

# コロナ禍と人権、今までとこれから

私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症。まん延が長期化する中、病気としての問題だけでなく、さまざまな人権問題を生み出すことにもなりました。

## コロナ禍の人権問題を振り返る

新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い、感染した人や医療従事者等への誹謗中傷や差別的な接し方が深刻化しました。未知の感染症に対する恐れに加え、外出自粛や生活様式の変化や制約などによる不安やストレス等の高まりが、こうした差別につながったと考えられています。

## 悪意なく生まれる差別もある

「自分は差別などしていない」そう思っている時として、「正しい」

さらに、新型コロナウイルスワクチンの接種が進むなか、接種を巡る人権問題が新たに浮上してきました。接種の強要や接種していいことに対する批判、嫌がらせ行為などが問題視される事態となっています。

と書いた言動が誰かの人権を侵害してしまうことがあります。このことは、コロナ禍にみられる差別についても同様です。

コロナ感染を避けるための言動が過剰になり、誰かを傷つけてしまっていないでしょうか。

また、ワクチンの接種については任意であり、期待される効果と副反応などのリスク双方を本人が理解したうえで、自らの意思に基

づき接種を判断するものです。体質や持病などさまざまな理由から接種しない人もいます。

接種の有無や、接種しない理由をしつこく問いただすなど、接種しない人に生きづらさを感じさせるような社会であってはなりません。一人一人の選択が尊重されることが重要です。

## 不安を差別につなげないために

多くの地域で新規陽性者数が過去最多となった第5波の感染拡大も減少に転じ、ようやく少し落ち着きを取り戻しつつある現在ですが、いまだにコロナの脅威が去ったとは言えません。

今後それぞれにできる予防を実施しながら3密を避けるなどの生活様式を続けていく必要があるでしょう。そのような暮らしの中で、不安やストレスを周囲にぶつけてしまっていないか、一人一人が自身の言動を、時折立ち止まって見つめ直してみることも必要ではないでしょうか。

言葉一つで人を追い詰めてしまうこともあれば、支えることもできます。どんな時もお互いの事情を思いやり、配慮し合う気持ちを忘れないようにしましょう。人と人との心のつながりを守ることも、大切なコロナ対策の一つです。

## スマイルフェスタ八女2021 (オンライン開催)

インターネット上で実施します。視聴は無料ですが、事前申し込みが必要です。



■内容=①電動車椅子サッカードキュメンタリー映画「蹴る」オンライン上映 ②監督ミニトーク ③市立学校児童生徒の人権作文朗読

●期間=①映画上映 12月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日) 24時間視聴可能 ②ミニトーク 12月5日(日) 14時～ ③人権作文朗読 12月4日(土)～12日(日) 24時間視聴可能

●申し込み方法=八女市ホームページから申し込みできます。(QRコード参照)



●申し込み締切= 11月22日(月)  
●オンラインでの視聴が困難な人を対象に、会場視聴会を行います。(要予約・先着 50人)

▽日時= 12月12日(日) 13時30分～

▽会場=おこなす八女

▽申し込み先=人権啓発係 (☎ 23・1490)

## 人権啓発パネル展

市立学校児童生徒人権ポスターなど、人権に関する作品・資料を展示します。

▽期間= 12月4日(土)～12日(日) (展示開催)

▽展示場所=おこなす八女